

平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

- 校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、全体で虹の架かる学校
- 将来の「大阪」とグローバル化に対応する人材と「大阪の教育」をリードする教員が育つ学校
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される学校

【生徒に育みたい力】

- 強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性
- 確かな学力（自己実現のための学力、知的好奇心、探究心 等）
- 生きる力（客観的事象分析・問題解決能力、意見表明・プレゼンテーション能力 等）
- 豊かな心（生命・人権の尊重、規範意識、異文化理解、多文化共生 等）
- 社会参加力（社会参加、社会貢献 等）

2 中期的目標

1 確かな学力を踏まえつつ、高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進

(1) 生徒のもつ学力を最大限に引き出す

ア 魅力ある授業の実施

効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、平成 30 年度に全教科で到達目標を明確にしたシラバスを完成させ、生徒に対して明確な道標を提供する

また、新学習指導要領や大学入試改革を見据えて、2019 年度までに、いわゆるアクティブ・ラーニングと大学進学の高立をめざした「高津授業メソッド」を完成させ、2020 年度以降につなげる。

*生徒向け授業アンケートの項目 8・9（内容に興味・関心が持てた・知識や技能が身についた）の平均点（H29：3.24／4 点満点）を平成 30 年度以降も 3.2 以上で維持する

イ 講習・補習の充実

放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容と規模を充実させ、進路実現に向けた指導を行う

*難関国立大学（京都大、大阪大、神戸大）への合格者数（現役生＋既卒生／H29：63 人）を、2020 年度までに 80 人以上とし、一層の増加に努める

*国公立大学への現役生の合格者数（H29：132 人）を、2020 年度まで 130 人以上で維持し続ける

ウ 英語運用能力の向上

英語での授業を基本としつつ、外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める

*12 月実施予定の第 2 回 GTEC スコアレポートにおいて、2020 年度までに CEFR B2：20 人以上、B1：360 人以上をめざす

*実用英語技能検定試験について、平成 30 年度には 2 級受験者のうち 70%の合格をめざし、2020 年度まで継続する

(2) 生徒の科学的素養を拡大・定着させ、探究心を高める

ア 文理学科「課題探究講座」（文系・理系）の内容のさらなる充実と全校生徒での共有

*文理学科 2 年生の「課題研究」に対する満足度をさらに高めるとともに、課題研究発表会への生徒参加数（H29：約 450 人）を、2020 年度までに 700 人以上にする

イ 創造探究事業（高大連携）の内容の充実

*文理学科 1・2 年生の外部連携事業への延べ参加者数（H29：1,717 人）を、2020 年度まで 1,000 人以上で維持し続ける

ウ 海外の科学先進校等との交流の推進

海外の科学先進校等との交流日数を増やすとともに、共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容をさらに充実させる

*交流先の拡大を図るとともに、交流日数（H29 年度：12 日）について 2020 年度まで 10 日以上を維持する

(3) 進路指導をさらに充実させる

ア 自己実現に向けた体験型進路学習（職場訪問、大学研究室訪問）の充実

1 年生は、望ましい職業観・勤労観を育成することを目標に、訪問時のインタビューの精度を高めるとともに、プレゼンテーションの質的向上を図る

2 年生は、大学における学問・研究に対する理解促進を目標に、生徒同士が学んだ内容について実施するポスターセッションの質的向上を図る

*1・2 年生とも訪問先（H29：1 年生 63 カ所、2 年生 52 カ所）を、2020 年度まで各 50 カ所以上、生徒満足度（H29：95%）を 90%以上で維持する

イ 3 年間を見据えたキャリア教育の充実

学校として確立した進路指導方針（高津進路プログラム：KSP）に基づき、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する

*学校教育自己診断の進路指導への満足度（H29：生徒 83%・保護者 80%）を、2020 年度までにともに 80%以上で維持する

2 スクールアイデンティティに基づき、豊かな心の育みと規律・規範の確立

(1) 人権尊重と生徒の社会体験活動の促進

*学校教育自己診断の、人権に関する指導に対する肯定率（H29：生徒 85% 保護者 83%）を、2020 年度までに、ともに 85%以上に引きあげる

*部活動参加生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率（H29：100%）を、2020 年度まで 90%以上で維持し続ける

(2) 規律・規範意識の向上

*年間の遅刻者総数（H29：2,472 件）を、2019 年度までに 2,000 件以下とし、維持する

(3) 生徒の自主的活動の活性化（部活動、生徒自治会活動）

*部活動加入率（H29：86%）を、2020 年度まで 85%以上で維持し、一層の増加に努める

*生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率（H29：66%）を、2020 年度までに 70%以上に引きあげる

(4) きめ細やかな保健指導と教育相談体制の充実

*生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度（「わからない」を除く／H29：83%）を、2020 年度まで 80%以上で維持し、一層の向上に努める

3 教職員の資質向上と学校運営体制の確立

(1) 教科指導力の向上

*生徒向け授業アンケートの全項目平均値（H29：3.24／4 点満点）を、2020 年度まで 3.2 以上で維持し続ける

(2) 研修の充実

*教員向け学校教育自己診断の校内研修に関する肯定率（H29：85%）を、2020 年度まで 80%以上で維持し続ける

(3) ミドルリーダーの育成と経験の少ない教員のさらなる資質向上

*教員向け学校教育自己診断のミドルリーダー育成に関する肯定率（H29：77%）を、2020 年度まで 75%以上で維持し続ける

(4) 学校の組織的運営

*教員向け学校教育自己診断の各分掌や学年・教科等の円滑な連携等に対する肯定的意見（H29：54%）を、2020 年度までに 65%以上とする

(5) ICT活用ならびに実験・実習、体験的な教科指導の充実、校務の効率化及び情報共有

*生徒向け学校教育自己診断の主體的・対話的で深い学びに対する満足度（H29：93%）を、2020 年度まで 90%以上で維持し続ける

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

*生徒による社会体験・貢献活動（ボランティア講座、支援学校との交流、部活動参加生徒によるキャラバン隊 等）をさらに活性化させる